

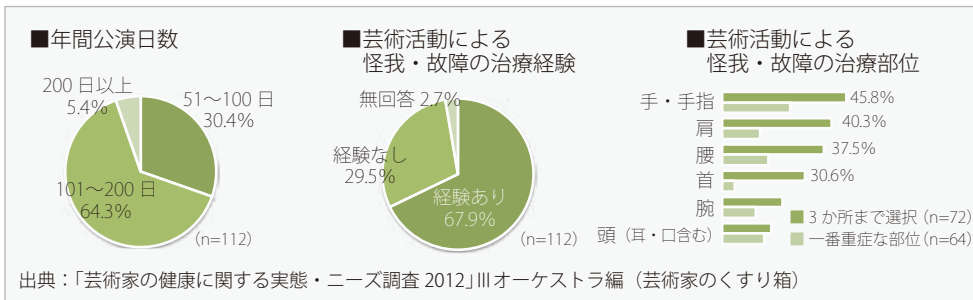


Music Wellness Day 2013

演奏家の障害～オーケストラ奏者を中心に

芸術家の最高のパフォーマンスをヘルスケアの面からサポートする NPO 法人芸術家のくすり箱では、医療従事者・トレーナー等の方々が、芸術家に特徴的な障害や動作特性、活動特性などの理解を深める機会として、Wellness Day セミナーを開催しています。

今回のテーマは「演奏家」。当団体の調査によると、演奏活動による怪我・故障の治療を経験したオーケストラ楽団員は、67.9%にのぼっています。この障害や不調をあらかじめ知り、適切な治療や予防につなげるべく、本セミナーでは、神経系の病気と、身体トレーニングによるコンディショニングに焦点をあて、プロの演奏家によるデモンストレーションを交えて共有します。



- 日時** 2013年9月15日(日) 14:00~16:30
- 会場** ティアラこうとう (東京都江東区住吉 2-28-36) 東京メトロ半蔵門線・都営新宿線 住吉駅 A4 出口より徒歩4分
- 対象** 医療従事者・治療師・トレーナーなど、演奏家の治療やケアに携わる方/演奏家
- プログラム** ▶ **第1部**

「音楽家の病気ー芸術を支える神経系の話」

講師：藤巻高光氏 (埼玉医科大学脳神経外科教授)



すぐれた才能と高度な訓練を積んだ音楽家による演奏は、裏方として「神経系」に支えられています。聴覚、視覚、感覚、運動などの神経のバランスのもと、芸術がかたちづくられているのです。この神経が障害されると、質の高い演奏がむずかしくなります。芸術を支える神経のしくみを解説します。また、神経の病気を合併した音楽家の経過や治療、神経の病気と他の病気との鑑別、プロの演奏家の診療で気をつけなくてはいけないことなどを紹介します。

▶ 第2部

「演奏家の身体トレーニングによる障害対処法・予防法」

講師：石橋秀幸氏 (フェアプレイ・データ代表、慶應義塾大学スポーツ医学研究センター研究員)



広島東洋カープ、ボストン・レッドソックスの元トレーニングコーチが、プロの演奏家の身体と向き合って10年。楽器による部位の違いはあれど、演奏活動による身体の酷使はアスリート並と実感。表現したい演奏を続けられる身体作りを目指して、演奏家に指導してきたトレーニングを、プロフェッショナル演奏家のデモンストレーションを交えて解説・指導します。

▶ デモンストレーション

- 辻 功氏 (読売日本交響楽団首席オーボエ奏者、洗足学園音楽大学教授)
- 倉田 優氏 (読売日本交響楽団首席フルート奏者)

料金 一般 6,300円 芸術家のくすり箱会員 3,800円 学生 2,100円

お申込 www.artists-care.com よりお申し込みください。
※セミナー申込と同時に会員登録も可能です。詳しくはウェブをご覧ください。

「芸術家のくすり箱」
で検索!

